

河内神社報

発行所: 〒731-5151
広島市佐伯区
五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社
社務所

夏越神事にお参りしましょう

宮司 山田 茂雄

七月六日(日)午後二時より、河内神社において夏祭りと同時に、夏越の神事「大祓式」と「茅の輪くぐり」を実施します。皆様お揃いでお参り下さい。

日々の生活の中で、私たちが、知らず知らずのうちに犯した罪や過ちを祓い清めて、氏神様の新しい力を戴き、人間としての清浄な正しい姿に立ち返り、暑い夏を元気に乗り切り、一年の後半を無病息災であるように願うお祭りです。



大祓式

おほはらいしき
参列される方は、半年間の罪穢れを移した人形を神前に収め、神職と共に大祓の祝詞を唱和します。祓えの行事の後に、お焚きあげを行い、火の靈力に

より、人形に移した罪穢れを祓い除けます。

なお人形は氏子総代さんが各家庭へお配りします。総代さん不在の地区(藤の木、河内南等)の方は、当日社頭に準備しておりますのでご利用下さい。

茅の輪くぐり

「備後風土記」にある、「茅の輪を腰に付けたる人は子孫に至るまで疫病に罹らない」と言われたという故事に基づいたもので、茅萱で作った輪を「水無月の夏越の祓えする人は千歳の命 延といふなり」と唱えながら三回くぐります。



茅の輪は六月二十九日から七月二十一日まで河内神社境内に設置致します。祭典当日ご都合の悪い方は、期間中にお参り下さい。お参りの作法は茅の輪に表示しておきます。

河内神社のお祭り

- 七月六日 午後二時 夏祭、夏越の祓い
- 八月十四日 午後八時 献灯祭
- 十月十一日 午後六時 秋祭前夜祭(神楽奉納)
- 十月十二日 午後二時 秋祭(例大祭)
- 十一月十五日前後 七五三祭
- 十二月十四日午後二時 新嘗祭(大祭)



このほか、毎朝日供祭、毎月一日、十五日月次祭を執り行い、氏子の皆様の日々のご安泰をお祈りしています。ご神前の清掃が済む午前七時頃から執り行いますので、ご参拝下さい。

国の最大のお祭り、伊勢神宮式年遷宮を成し遂げましょう

伊勢神宮式年遷宮

伊勢神宮では、今から約千三百年前に第一回目の遷宮が行われました。以来二十年に一度繰り返され(戦国時代一時中断)来たる平成二十五年には第六十二回目を迎えます。



式年遷宮とは、大御神の新しいより大きなお力をいただくため、定められた年に新しくお宮を造り神様にお遷り願うことです。神宮では内宮、外宮、別宮とも社殿の隣に同じ広さの敷地があり、二十年ごとに全く同じ形の社殿を新しく造り替えます。また同時に御神宝、装束、鳥居、宇治橋等も造り替えます。

今年四月二十五日、内宮、外宮の新御敷地の鎮地祭(地鎮祭)が行われました。七月二十六日には宇治橋の掛け替え工事が起工されます。(平成二十一年十一月三日午前三時渡始式)

千三百年の昔から我々の先祖の浄財、奉仕活動により継続されてきたこの遷宮を、我々も立派に成し

遂げ、次世代に引継たいものです。

河内神社では五月より奉賛活動を行っています。既に多くの氏子の皆様に奉賛金を納めていただいています。総代の皆様がお願いに回られていますので、よろしくお願い致します。また本年度の各祭典時、社頭に受付コーナーを設けますので、総代不在の地区の皆様、ご協力をお願い致します。

食思考

大下 宣義

「豊葦原の瑞穂の国」この辞を年配の方なら、幼い時から聞かされ、聞いてきた事が記憶に残っていることと思います。祖国日本は、農業を中心に置いて、その中核として「米作り」があつたことは、古くから歴史が証明しております。その頃、天気予報などの情報はなく、里人は故郷の空を見る等、土地勘によって災害から逃れようとしたが、自然の力に勝つことはできません。台風、早魃、洪水等の災害、人々の生活は、今の発展途上国社会の状態のようでした。

そこで人々が「安心立命」のよりどころとしたのが、神であり氏神様であろうと思います。

戦後高度経済成長の中で、私たちの食文化も変容し、母の味は遠くなり、食品のパックをレンジでチン、「はいっつぱ」。これでいいのか、今考える時がきたと思います。

今、世界の食糧危機が叫ばれる中、私たち人間の素朴な暮らしとは何か？安全な食品とは何か？を求めたいと思います。そして基底に有るのは、自然への畏敬であり、神佛崇敬の念であると考えます。

巫女をして

古屋 美華

最初、お宮に行つて説明を聞きました。巫女が参

加するお祭りは年四回あります。一回目は十月なので、八月の半ばくらいから、毎週木曜日に練習をしました。

初めは難しいなと思つていました。でも何回も練習していると、だんだん楽しくなりました。一番印象に残つたのは歳旦祭でした。理由は、一月一日にあつて、今年は、前日からの雪で、とても寒かつたからです。みんなでストーブを囲んで出番まで座つて待つていました。石段もぬれていて滑りそうになりました。二番目は、四月にあつた招魂祭です。巫女として最後のお祭りでした。人も多かつたです。普段はなにも気にしていませんが、こうして人は、神様に感謝して生活しているのかなあと思いました。今回巫女をして良かったと思ひました。



巫女舞

田中 志

私は、昨年の夏休みから今年の四月にかけて、河内神社で巫女をやらせていただきました。最初は全然やるのが覚えられませんでした。回数や足の向き、リズムなどが難しく、全く覚えたといい感じがありませんでした。でも、何回か練習を重ね「何とか覚えたかな」という所まで行くことが出来ました。まだ少し不安のまま、初めてのお祭りが来ました。



河内神社社務所 電話〇八二九二八―三三三
河内地区(上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神社河内神社へは

初宮詣、安産祈願、歳祝、家内安全、学業成就、厄祓い、交通安全、商売繁盛、七五三祭、地鎮祭、家祓いなど電話でご予約ください。

諸祈願祭受け付けます

やる前はとてもきんちようしました。それに、座つているときの姿勢を保つのもきつかったです。でも、自分たちの番になるとそんなことは、忘れていました。出るときと座に戻るときが一番きんちようしました。無事に成功したので良かったです。それから練習と祭りを何度かくり返して、とうとう最後のお祭りになりました。そのお祭りでは少し失敗をしてしまいました。でも終わったときに「よくがんばつたね」「よかつたよ」などはげましてくれたのでうれしかったです。私は巫女をやれてとてもいい経験になったと思います。河内神社さん、父、母、妹、さそつてくれた友達、みなさんにとっても感謝しています。その人が居なければこんな経験は出来なかつたからです。本当に、ありがとうございます。